

2. 豊田市都心交通ビジョン

美しいまち TECH²（てくてく）豊田

— 都心が目指すべき9の目標 —

世界を代表する企業、トヨタ自動車の本社が立地する世界の注目する都市としてふさわしい都心を形成するために、以下の3つの視点から豊田市の都心が目指すべき姿を提言した。

それぞれの視点ごとに3つの目標を設定し、その実現のために必要なアクションプランを示した。

1. 世界で最も先進的な環境都市
2. 世界経済を牽引する企業が立地する洗練された文化都市
3. 世界に誇れる『かしこい交通社会』が実現した交通モデル都市

1. 世界で最も先進的な環境都市

① 世界で最も進んだ環境負荷低減モデルとなる都心を実現する。

アクションプラン

民：市民／事：事業者／行：行政が主体となる。

■ まちづくりに関する環境負荷低減方策の実現

- ・ ヒートアイランド現象の抑制のために、都心面積の3割が緑や水で覆われるようなまちづくりを官民一体となって進めていく。そのために、公園緑地面積の拡大を図るとともに、民間開発等に対して、敷地の緑化推進と積極的な屋上・壁面緑化の誘導等を図っていく。民/事/行
- ・ 建物もしくは地面からの放射熱の抑制を図るため、熱を吸収しやすい外装材料の採用や、透水・排水性舗装材の積極的な採用の推奨・誘導に努める。事/行
- ・ 建築物の更新を図る際は、環境負荷低減に貢献する様々な工夫をこらすよう実現・誘導するとともに、民間事業者や市民の環境に対する意識を高める努力を行っていく。民/事/行
- ・ 水資源の保護・再利用促進を図るため、建築や開発といった行為を行う際は、雨水貯留・雨水再利用施設などの設置を推進するとともに節水に係る様々な工夫を官民一体で進めていく。民/事/行
- ・ 水温の安定した豊富な地下水を生かし、それを熱交換に利用した集約的熱源システム（DHC）の導入を検討するなどして、都心全体でのエネルギー効率の向上に努める。事/行
- ・ 市内の山間地から生まれる間伐材を、内装材などの建築資材に再利用するなど、豊田市の資源を活かしたまちづくりを推奨し、地域循環型社会の形成を図る。民/事/行

■ 市民生活に関する環境負荷低減方策の実現

- ・ 風力発電、太陽光発電など自然エネルギーの市民利用に対して、様々なインセンティブの仕組みを導入し、市民意識の向上を図りつつ、省エネルギーを推進する。民/事/行
- ・ 市民によるゴミ分別の徹底や生ゴミの再利用等を図り、都心から排出されるゴミの総量を減らすことで、焼却場への負荷や燃焼時に大気中に放出されるCO₂などを軽減するとともに、生ゴミを利用した小型発電プラント（バイオマス発電）を整備するなどして更なる省エネルギーを図る。民/行

■ 交通に関する環境負荷低減方策の実現

- ・ 公共交通網を充実させ自動車交通量の低減を推進することで、過度の自動車利用を是正し、CO₂の発生削減を図る。また、公共交通の利便性向上、交通手段転換、交通需要の効率化などTDM（交通需要マネジメント）の取り組みを推進し、人と自動車が共存した都心を創出する。行
- ・ 低公害車の導入に対して補助金などのインセンティブを与え、低公害車が世界一普及した都心を目指す。民/事/行
- ・ エコドライブ講習会の開催などを通じて、市民の環境行動を啓発し、市民一人一人が環境に優しい運転を実践する都心をつくる。民/事/行

●環境負荷低減方策 イメージ

まちづくり

市民生活



屋上緑化の例



バイオマス発電機の例

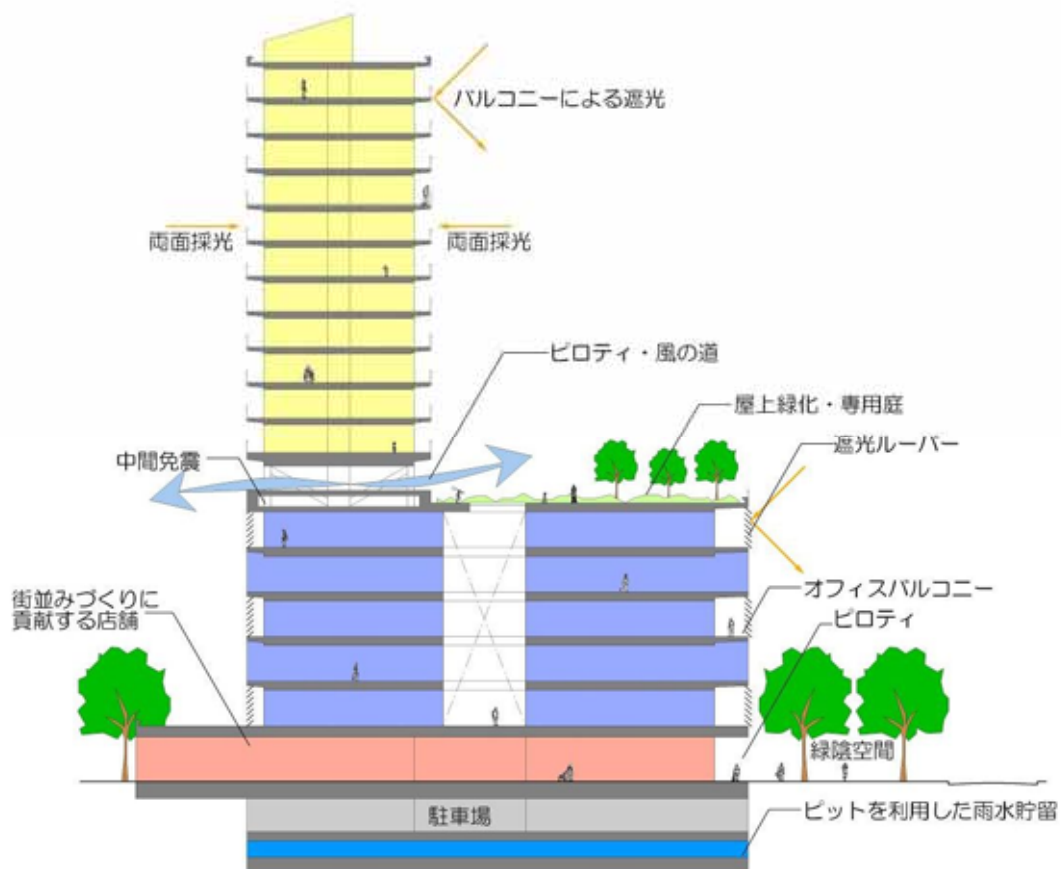
3つの分野の施策を
並行して実現し
環境負荷を低減させる



歩行者・公共交通の共存の例

交通

●環境負荷低減に貢献する建築物の例



② 豊かな緑、水、生態系が調和し、市民に愛される環境を実現する。

アクションプラン

■ 3つの『杜』の創造

- 新たに整備する矢作川沿いの中央公園を、環境・健康をテーマとした『矢作の杜』とする。巨大な緑と、その緑に囲まれた環境・健康に関する教育・研究機能や豊田スタジアム、豊田市総合体育館が連携した、21世紀型都市公園のパイロットモデルとして整備する。事/行
- 中央公園（『矢作の杜』）や矢作川リバーフロントについては、国際ランドスケープデザインコンペを開催するなどして、世界からさまざまな知恵を募り、その中から市民にもっとも求められる案を選出し、豊田市と市民にとって新たな財産となる空間整備を目指す。行
- 豊田市美術館、市民文化会館、豊田東高校跡地が位置するエリアを『七州城の杜』と位置づけ、芸術の教育・研究機能と融合した「緑と芸術と歴史の拠点」として整備する。行
- 毘杜公園は『毘森の杜』として、緑あふれる防災拠点に再構成する。行

■ 緑のネットワークの創出と市民参加の推進

- 停車場線を中心として、街路樹のある歩道をつくり、緑あふれる歩行者空間を整備する。同時に、緑の創造とブランド性の付与による周辺の土地の付加価値上昇を誘導する。行
- 都心市街地内部の既存小規模公園や社寺といった空間の保全・整備を図るとともに、青空駐車場や遊休地を小公園化するなどして、『街なかエコスポット』という緑の空間を創出し、都心の市街地にやすらぎを与えると同時に周辺住宅地の環境的価値向上を図る。行
- 『矢作の杜』・『七州城の杜』・『毘森の杜』の3つの杜と『街なかエコスポット』などが、矢作川リバーフロント、枝下緑道、道路沿道の街路樹や住宅地の花々などでつながることで、表情豊かな緑のネットワークを生み出し、連続的で多様な生態系の維持・創出に貢献する。民/事/行
- 開発規制等により、崖線や農地など重要でありながら脆弱な緑地の保全・整備を推進する。行
- 花いっぱいまちづくり助成金や、植樹助成金などの施策を推し進め、身近に常に自然がある環境づくりを市民自らが主体的に行うようになる社会を形成する。民/行
- 行政または市民主催の環境教育イベントを『矢作の杜』を舞台に開催したり、希少生物を保護・観察する市民団体やNPOの活動を行政が支援してPRするなど、市民の環境意識の啓発を図るとともに、市民自らが水・緑・生態系を守り育てる行動を起こす契機とする。民/行
- 3つの杜や矢作川リバーフロントなどにおいて、清掃やレクリエーション活動支援を行うボランティア団体を市民が運営し、自発的な環境創造社会の構築を図る。民

■ 『水のみち』ネットワーク創造プログラムの実施

- 既存の水路などを活用したせせらぎのある公園を整備し、潤いのある環境を周辺の住宅地に提供するとともに、歩行者空間に沿って地下水などを利用した水路と街路樹を設け、水音を聞きながら歩ける緑あふれる散歩道を整備するなどして、都心全体に『水のみち』ネットワークをつくる。行
- 透水性舗装の採用と空地の緑化を推し進め、大雨時の地表水を地下に浸透させることで、地下水脈がネットワークした、水循環の強固な水害に強いまちを実現する。行

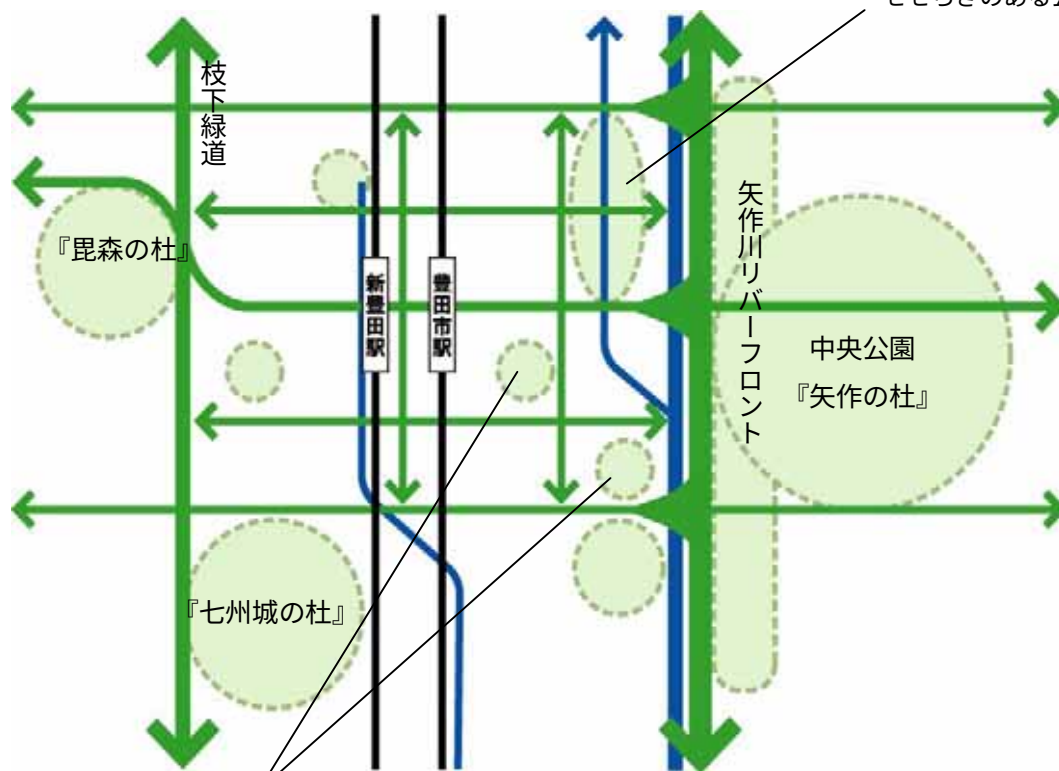
●都心のグリーンネットワーク ダイアグラム



街路樹のある歩道 イメージ



せせらぎのある公園



『街なかエコスポット』



花いっぱいの住宅 イメージ



1. 世界で最も先進的な環境都市

③ 健康であり続け、安心して暮らせる生活環境を整備する。

アクションプラン

■ 街なかを歩きたくなるような、身体を動かしたくなるような都市環境づくり

- 停車場線の広幅員歩道化を始め、都心の歩道の拡充や高木を中心とした沿道緑化の推進などを行い、歩きやすい、またにぎわいの生まれやすい都心づくりをめざす。行
- 矢作川リバーフロントなどの緑のネットワークや豊田スタジアム、豊田市総合体育館を含む中央公園（『矢作の杜』）に、散歩コースやジョギングコース、サイクリングロードなどを充実させ、気持ち良く移動できる快適な歩行空間・スポーツ空間を整備することで、市民が自ら身体を動かして、健康であり続けられるような都心をつくる。行
- 『矢作の杜』の中に高齢者や身障者のためのリハビリエリアを設け、自然の中で安全に楽しく身体を動かせる場を提供する。行
- 矢作川の河川敷などに毘森公園に現存するスポーツ施設群を移転して、より市民が使いやすいものにするとともに、グランドゴルフ場など高齢者が楽しめるような施設も併せて整備する。行
- 良好で安全な歩行・スポーツ環境を継続的に守るため、市民と行政が一体となって日常的な清掃活動やパトロール活動などを行えるような仕組みづくりについて検討する。行/民

■ 歩行・自転車利用推進のためのエコポイントプログラムの実施

- 健康産業企業等とタイアップし、万歩計を利用した健康エコポイントプログラムを実施する。参加者には歩数に応じたポイントを進呈し、市民が積極的に歩きたくなるよう誘導する。民/事/行
- レンタサイクルを推奨し、自転車の貸し出しセンターを充実させるとともに、走行距離に応じた健康エコポイントを進呈するプログラムを実施する。民/事/行
- 都心には、憩いの場としてのカフェを兼ねた健康エコポイントセンターを整備し、市民が歩いて、または自転車でやってきて集う場を提供する。行

■ 豊田版農業・食育プログラムの実施

- 豊田の農産物を使った豊田ブランドの健康食を提唱し普及を促すことで、市の名物とするとともに、健康に対する市民意識の向上を図る。民/事/行
- 『矢作の杜』に市民農園などを設け、子どもたちが無農薬栽培による農業の体験や収穫した農作物の美味しさを学ぶことができるような食育プログラムを実施し、また支援する。行

■ 医療・福祉の総合的な都心支援プログラムの実施

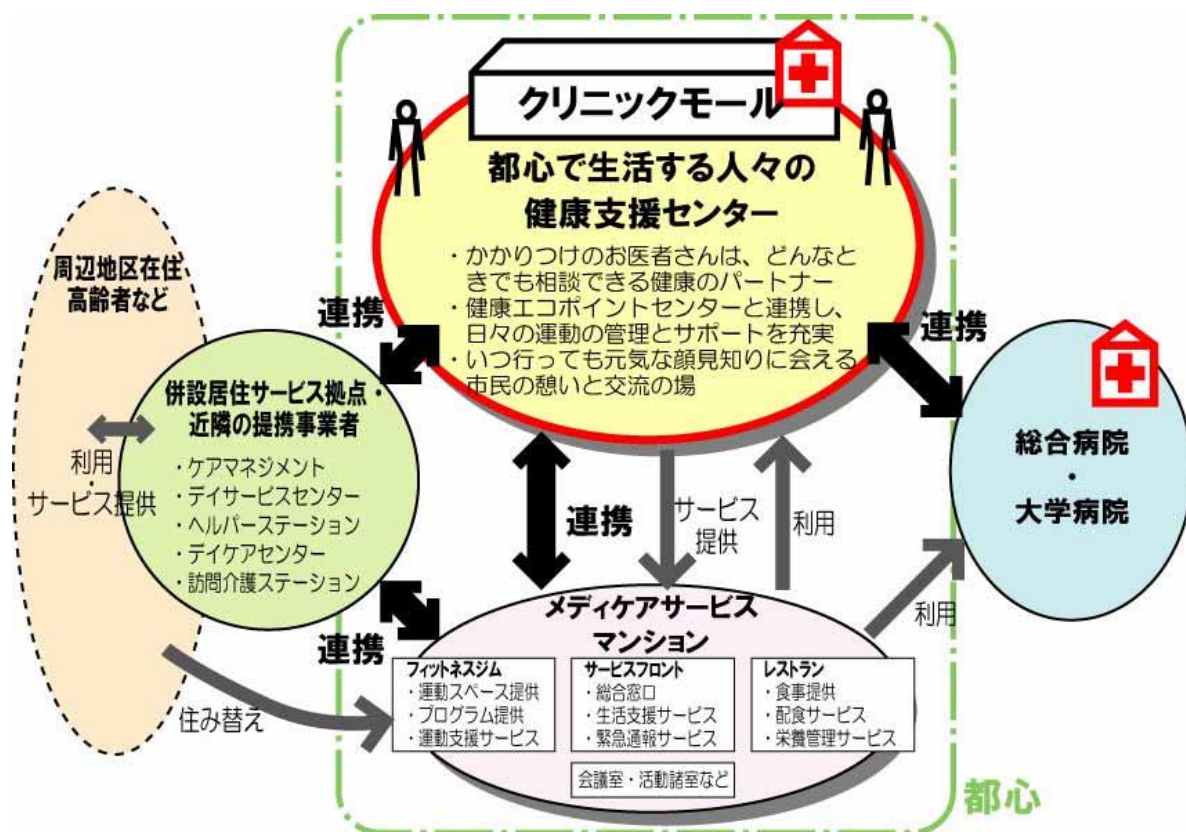
- 浄水駅前に移転する病院に代わり、日常の医療を担当するクリニックモールを都心に誘致する。クリニックモールは、いつでも気軽に利用・相談でき、かつ市民の集いの場ともなる民営の健康センターの役割を果たす。事
- メディケアサービスマンションなど、高齢者や障害者に配慮した建物の建設、改修に対してインセンティブを与えるとともに、クリニックモールや総合病院、行政サービス施設等との連携強化を図り、安心して都心に暮らせるような仕組みの構築を図る。事/行



矢作川リバーフロント イメージ



食育活動 イメージ



都心医療・福祉ネットワーク ダイアグラム

④ 経済活力と豊かな暮らしがバランスした新しい職住共存モデルを構築する。

アクションプラン

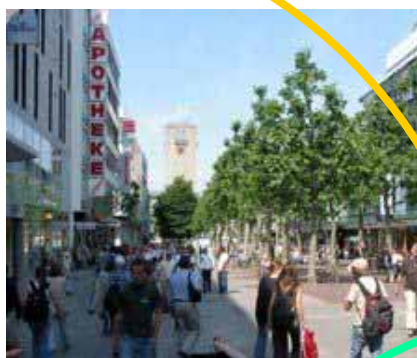
■ 充実したワークタイムを過ごせる職住共存プロジェクトの実施

- 豊田市の経済を牽引する自動車関連産業を中心とする業務機能を都心に誘致し、併せて多様な住まい方・働き方を支援する質の高い都心住宅を誘導することで、充実したワークタイムとアーバンライフが実現できる職住近接型の都心を実現する。民/事/行
- まとまった業務機能の需要に対応できるよう、都心の再開発を促進し、質の高い業務床の創出、それを支える商業機能の導入等を積極的に推進する。民/事/行
- 住宅の都心立地を誘導するために、敷地を共同化する事業や質の高い住宅を供給する事業への補助またはインセンティブを与える。行
- これらの開発誘導などにより、都心従業人口約 10,000 人、都心居住人口約 10,000～20,000 人の増加を目指す。民/事/行

■ 多様な都市型のライフスタイルを支援する住宅供給の誘導

- 都市居住型の誘導居住水準を満たしつつ、単身者から共働き世帯、高齢者に至るまでの多様な生活スタイルを想定した様々な住戸タイプの供給を奨励・誘導する。事/行
- 都心居住者や従業者が都心生活を満喫するために必要な商業・文化施設を誘致し、職・住・遊・学が一体となった、新しい都心を創造する。民/事/行
- SOHO や在宅ワーキングなどの新しい就業スタイルや、新旧住民の交流、職住融合のために必要な、共有スペースや住民間の交流サロンなどのユニークな空間の設置に対して補助またはインセンティブを与え、これを推奨する。事/行
- 『街なかエコスポット』を中心に、良好な環境で付加価値の高い集合住宅開発を誘導するなど、パイロットモデルとなる都市型住宅プロジェクトを重点的に推進する。事/行
- 現在農協が開催している青空市場や、拳母神社周辺で開催されている八日市などと連携し、同様のマーケットを都心の路上などを活用して開催することで、にぎわいを生み出し、新旧住民の活発な交流を促す。民/行
- 低・未利用地を住宅地として有効に利用促進するために、様々な融資制度の活用促進や基盤施設の整備支援、都市機構のような公的機関の活用などを行い、敷地の共同化や高度利用を促す。事/行
- 暮らし・にぎわい再生事業等を活用して、民間事業者や NPO、地域住民等による、都心における空家・空地の活用などの取り組みを支援する。行
- 市街地再開発事業、中心市街地共同住宅供給事業、都市再生住宅等整備事業等を活用し、民間事業者による都心住宅供給を支援する。行

住



学



職・住・学・遊が
一体となった
新しい豊田都心の姿

遊



職



職・住・遊・学が一体となった都心 イメージ

⑤ 戦略的なまちづくり組織を中心に、都心に品格ある景観をつくり、にぎわいを高める。

アクションプラン

■ (仮)『メインストリートを創る会』を中心とした、停車場線の商業空間と街並みづくり

- 都心における業務および居住機能立地を促進することで、その波及効果により既存商業エリアの活性化を促すとともに、求められる商業機能立地を戦略的に誘致・促進する。事/行
- 新豊田駅から豊田市駅、国道 153 号との交差点を経て矢作川に至るまでの停車場線沿いの総合的なエリアマネジメントを行う主体として、地元企業や地元地権者、商業事業者、外部から招へいた事業/商業/景観プロデューサー（民間事業者）などを中心に構成される（仮）『メインストリートを創る会』を設立し、品格ある停車場線づくりをトータルに先導する役割を担う。民/事/行
- （仮）『メインストリートを創る会』の意思決定機関として、停車場線の新しいまちづくりに真剣に取り組みたい地元企業と地元地権者で構成される『コア会議』を設置する。『コア会議』には強力なリーダーシップを持たせて、停車場線全体の事業性・ブランド性を高めるために、商業プロデューサーおよび景観創造を戦略的に行っていく。民/事/行
- 具体的には、既存の商店との連携を図りながら、都心居住者の生活を満足させ、建物低層部ににぎわいを生み出す個性的な店舗・飲食店、ギャラリー等文化的な施設、地域や学生の交流の場となる施設を誘導し、デザイン性に優れ、歩いて楽しい沿道空間の形成を誘導する。民/事/行
- また、必要に応じて、多様かつハイレベルな都心居住者のニーズに応えることができる大型キーテナントの誘致を検討し、都心商業活性化の起爆剤とする。民/事/行
- （仮）『メインストリートを創る会』は建物の外観や修景デザイン、サインなどに関するデザイン指針を決定し、それに沿って建築・景観協定や街並みガイドラインなどを行政と連携しながら策定する。これによって、沿道デザインの協調や駅舎を含む駅前周辺のデザイン刷新を推し進め、新しい未来の街並みに相応しい景観を創造する。民/事/行
- 街並みガイドラインを踏まえて、空地の創出など景観に配慮したプラスアルファの空間設計を実施する民間事業者に対して行政が補助金を出す代わりに、（仮）『メインストリートを創る会』がガイドラインに沿った設計が行われているかどうかチェックできるようにする。行
- （仮）『メインストリートを創る会』の下に、まちづくりの実行部隊としてまちづくり会社を置き、新しい街並みの組織的な維持管理やセキュリティ管理を官民協働で行う。民/事/行

■ (仮)『メインストリートを創る会』によるブランディングと情報発信

- （仮）『メインストリートを創る会』は、再開発等の事業パートナーの選定や都心の商業活性化方策、新たな豊田ブランド構築のための手法などのブランディング戦略の方策などをトータルに協議し、実践していく。民/事/行
- 車をイメージできる情報発信施設を、駅前や中央公園などの停車場線沿いに誘致し、豊田市都心の『顔』として国内外にアピールする。また、駐車場線を中心にシンボリックな各種交通サービスを導入し、新しい公共交通や ITS などを体験できるようにするとともに、情報発信も行う。民/事/行
- （仮）『メインストリートを創る会』は商業的な豊田ブランドを確立するだけでなく、職・住・遊・学が一体となった新しい豊田市都心の姿を積極的にアピールし、全世界に情報発信する。民/事



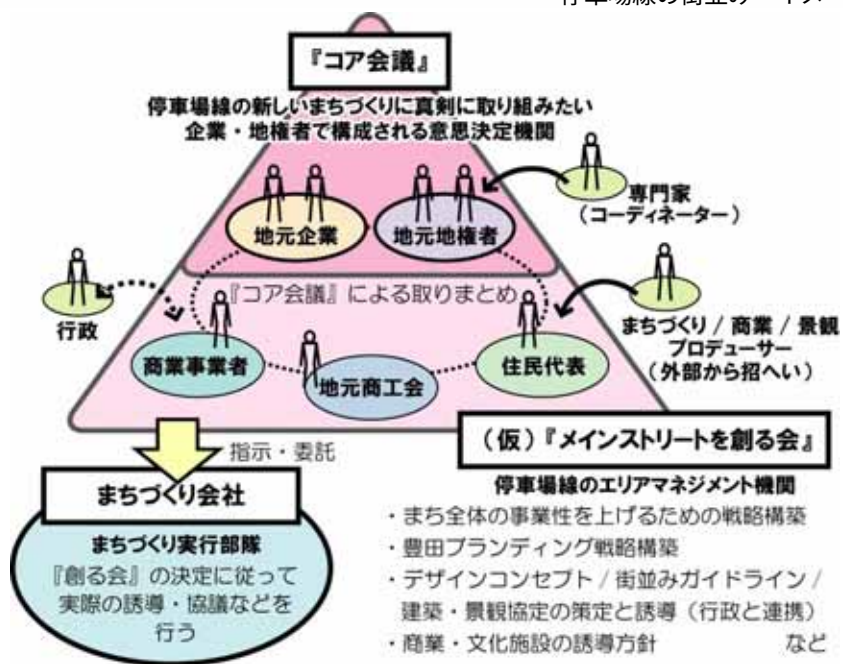
豊田市駅から見た停車場線 イメージ



停車場線から見た豊田市駅 イメージ



停車場線の街並み イメージ



(仮)『メインストリートを創る会』ダイアグラム

⑥ 都心生活を楽しみ豊かな都心文化を育む多様な教育・学習環境を整える。

アクションプラン

■ (仮)『豊田シティカレッジ』構想の実現

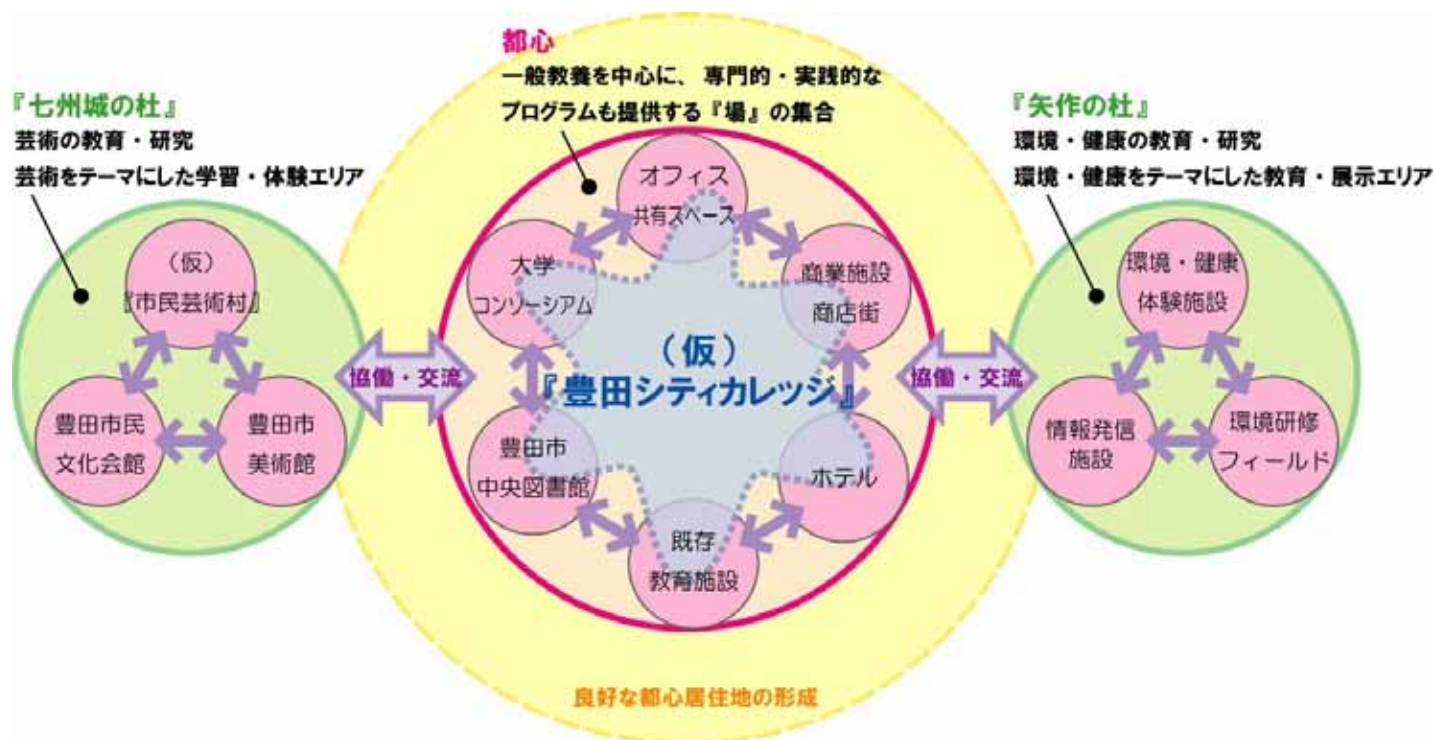
- 都心に住まう多様な世代の人々が、気軽に様々な分野の教育を受けることができる(仮)『豊田シティカレッジ』を、行政・市民・地元企業等が協力して設立する。運営主体は、市民や地元企業が中心となったNPOなどとし、市民が参画し、市民が育てる学校として育成する。民/行
- (仮)『豊田シティカレッジ』は、都心の民間ビルや既存の学校、図書館の一角、商店街の中など、様々な「場」を活用しながら多様で柔軟な活動を展開する。また、大学コンソーシアムの結成による大学間交流、産学連携とともに、既存大学のサテライトキャンパス誘致などにより、連携を取りながらユニークなプログラムを提供する。民/行
- プログラムは一般教養的なものを中心に専門的なものまで多岐にわたり、講師についても、公募で選定した一般の市民、民間企業からの派遣講師、国内外の専門家や研究者に至るまで幅広く招くことで、実践的なプログラムを実施する。民/事/行

■ 教育・研究・学習の『杜』の創造

- 一般教養を中心とするシティカレッジに対し、特徴的・専門的な教育・研究・学習の場となるエリアを、既存の公園やオープンスペース、既存建物などを活かしながら都心の東西に2ヶ所設置し、これらを交通新システムで結ぶことで、使いやすかつ「豊田ならではの」教育環境を整える。行
- 東の『矢作の杜』は環境・健康の教育・研究エリアと位置づけ、豊田スタジアムとの連携を図りながら、緑に囲まれた環境・健康学習施設の整備や環境・健康体験の森、情報発信施設等の誘致を図る。『矢作の杜』計画地内にある豊田北高校は、将来的には施設更新の時期に合わせて杜と一体的に活用するなど、その取扱いを検討する。行
- 西の『七州城の杜』(豊田東高校跡地周辺)は芸術の教育・研究エリアと位置づけ、豊田東高校跡地を活用した市民参加型の(仮)『市民芸術村』を整備し、既存の豊田市美術館や豊田市民文化会館を発表の場として活用するなどしながら、市民の創造性を増進する場としていく。行

■ 多角的な交流による教育レベルの向上と都心居住の促進

- 都心の(仮)『豊田シティカレッジ』と東西2箇所の教育・研究・学習エリアを活動の場として、さまざまな協働・交流の場を提供し、様々な世代の市民・専門家・民間企業等の多角的な情報交流・相互触発を促進することで、都心、豊田市全体の教育レベル向上に貢献する。民/事/行
- 都心の教育環境、教育レベルの向上が進んでいくことで、より多くの人々が都心に住むことを選択することが期待され、都心居住人口・交流人口が増加し、地域の活性化を促進する。事/行
- 海外から豊田に移り住んできた住民や、豊田市を訪問した人々に対しても、『(仮)豊田シティカレッジ』の中に気軽に立ち寄れる国際交流サロンを開設するなどして、より国際的で活発な情報交流を促していく。民/事/行
- 豊田市の産業を中心とした文化、歴史を資源として活かした教育・学習環境を展開する。民/事/行



(仮)『豊田シティカレッジ』と2つの『杜』将来像 ダイアグラム



『七州城の杜』(演劇リハーサル風景) イメージ



『矢作の杜』 イメージ

3. 世界に誇れる『かしこい交通社会』が実現した交通モデル都市

⑦ 交通新システムの導入など、公共交通が快適に利用できる先進の環境を整備する。

アクションプラン

■ 広域公共交通ネットワークの充実

- 名鉄三河線複線・高架化や愛知環状鉄道複線化、都市間高速バスの充実の検討など、公共交通サービスの向上を図り、都心へのアクセスの主体を公共交通へとシフトさせる。事/行
- 愛知環状鉄道を豊田・岡崎両市の市境付近から分岐し、新幹線三河安城駅を経由して、中部国際空港に至る愛知環状鉄道分岐ルート構想の実現を目指す。行

■ 都心にアクセスしやすい交通新システムの実現

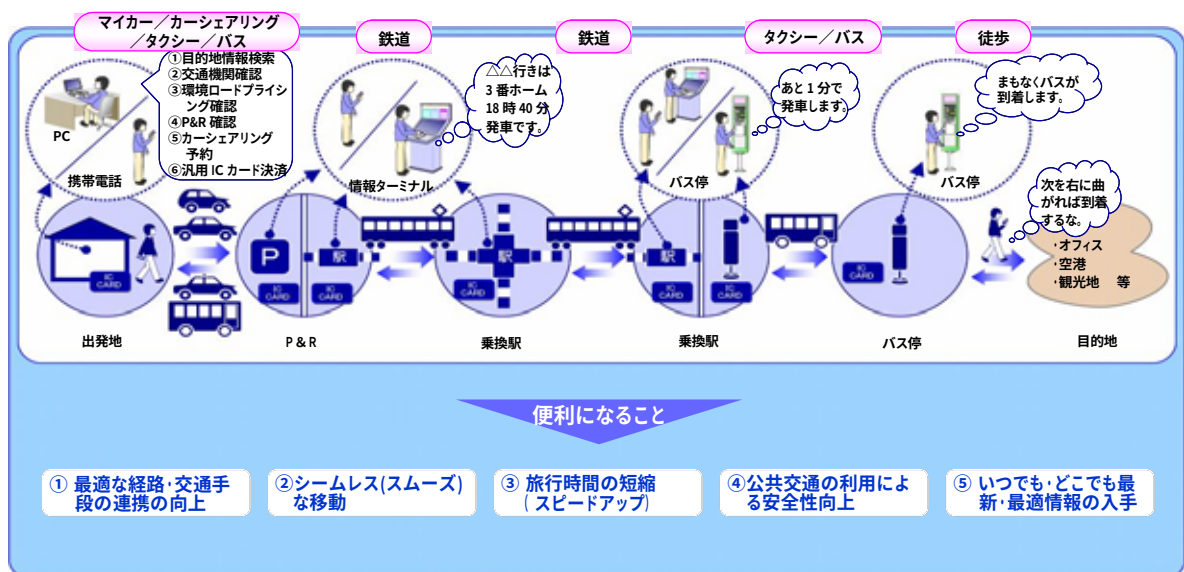
- 基幹バス・地域バスの強化により、市内のどこからでも都心へ容易にアクセスできる公共交通ネットワークを整備する。事/行
- 豊田市駅前を拡充したうえで、豊田市駅を交通結節点とする交通新システムを整備し、より快適に公共交通で都心へアクセスできる環境を整える。事/行
- 先行的に、豊田市駅とトヨタ自動車本社地区・三河豊田駅を結ぶ路線に PTPS（公共車両優先システム）を利用したシャトルバスを運行させ、豊田市駅とトヨタ自動車本社地区を 20 分以内で結ぶ。その後、都心の再開発によって道路が拡幅されるのと同時に、本格的な交通新システムを導入する。事/行
- 引き続き、豊田市駅～東山町間、東山町～豊田本社地区～土橋駅間を整備し、交通新システムによる東側から南側のループを完成させる。将来的には、土橋駅～豊田市駅間も整備し、交通新システムによる大きな環状線を完成させることも検討する。事/行

■ 快適で移動しやすい公共交通サービスの実現

- 名鉄三河線複線・高架化や愛知環状鉄道複線化、基幹バスネットワークの強化など、公共交通サービスの向上を図る。事/行
- ITS や『みちなびとよた』などを活用して、利用者がリアルタイムで交通情報を把握することにより公共交通の乗り継ぎを効率化し、現在地からもっとも効率的に目的地に辿り着けるルート検索を可能にする。事/行
- 共通 IC カードを普及させ、パーク＆ライドやカーシェアリング・自転車シェアリングなどにより自動車交通量軽減を図るとともに、各種公共交通への乗り継ぎも自由にできる料金も含めた制度の導入を図る。事/行
- バス停などの待ち空間にベンチ、屋根など設置するとともに、駐輪場・パーク＆ライド駐車場などを整備し、各交通手段間の接続性を高め、快適な乗り換えを実現する。事/行



交通新システムネットワーク段階整備イメージ



公共交通システムのサービスレベルの向上策 イメージ

3. 世界に誇れる『かしこい交通社会』が実現した交通モデル都市

⑧ 歩行者と公共交通が優先され、歩行者が安全・安心に回遊できる都心をつくる。

アクションプラン

■ 停車場線のトランジットモール化と、その周辺地区の歩行者・公共交通優先エリア化の実現

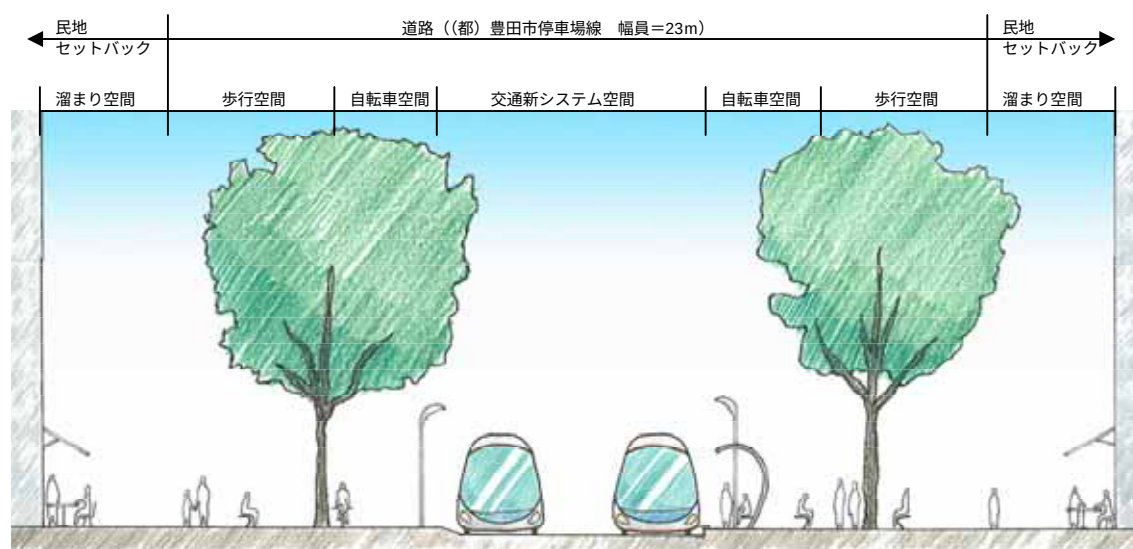
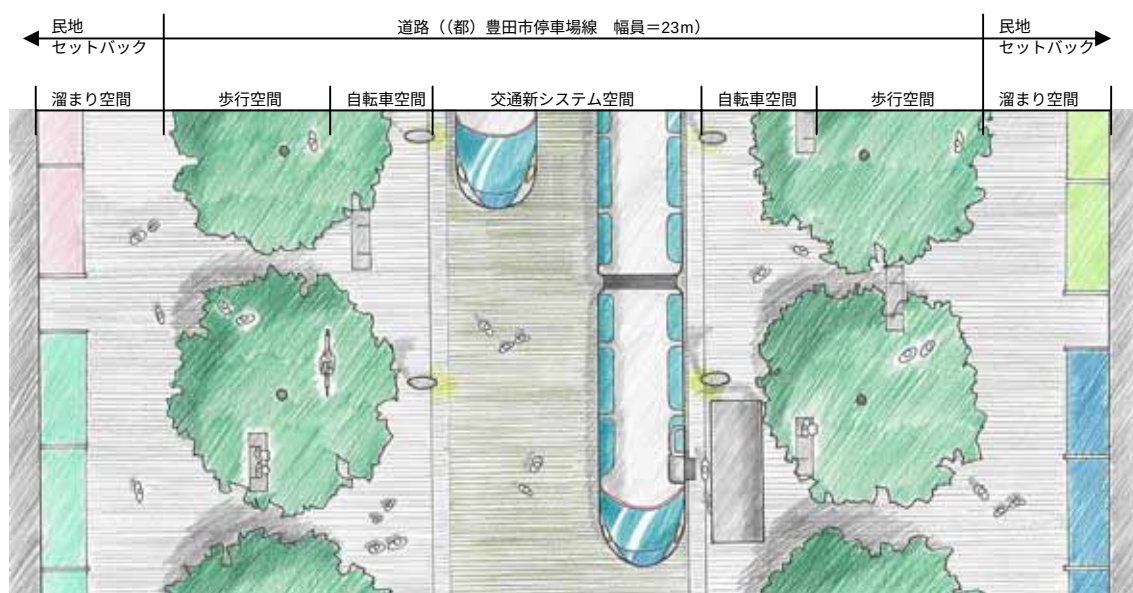
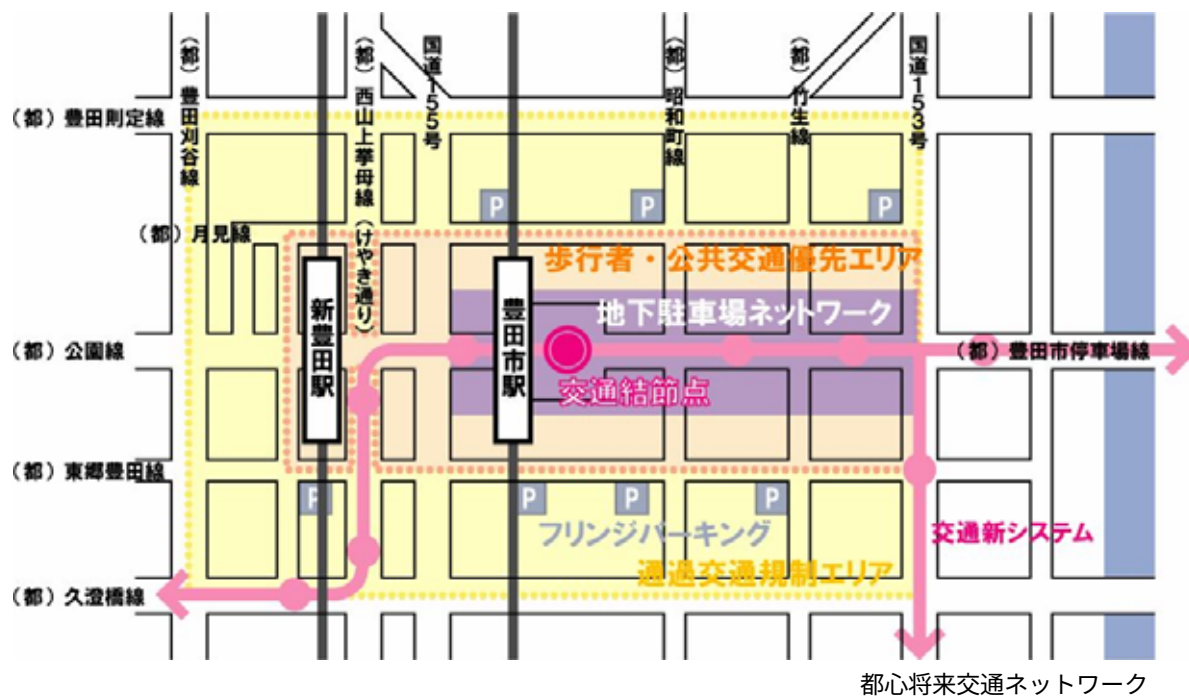
- 都心の交通渋滞防止や高齢者対応、来訪者の移動支援などのために、交通新システムを導入し、停車場線のトランジットモール化を実現させる。そのために、まず広域道路ネットワークの整備や公共交通の充実を図ったうえで、駅前広場の拡充を行う。事/行
- 外環状道路の整備、都市の骨格となる幹線道路の整備により、都心部に不必要な自動車交通の流入を抑制する。都心部には「通過交通規制エリア」を設定し、速度規制、一方通行規制等により自動車をコントロールするとともに、パーキングデポジットシステムの導入などにより、通過交通、駐車車両のコントロールを図る。事/行
- 中心部には「歩行者・公共交通優先エリア」を設定し、地上空間を歩行者・公共交通を中心とする回遊空間とする。都心部に目的を持つ自動車交通については、スピードアダプテーションなどにより安全な交通静穏化空間とする。行
- トランジットモールを含む歩行者・公共交通優先エリアには、誰もが利用できる未来型タウンモビリティシステム（歩行者・公共交通優先エリア内を移動するときに自由に使える、共有型個人乗り移動手段）を導入するなどして、市民や来訪者が快適かつ安全に回遊できる場にする。事/行
- 都市内の幹線道路沿道に幹線自転車・歩行者ネットワークを整備するとともに、歩いて楽しい歩行者空間を整備することにより、安全で心地よい通行空間を創出する。行

■ 大規模地下駐車場ネットワークの形成

- 歩行者・公共交通優先エリアの外側にある駐車場（フリンジパーキング）を活用し、歩行者・公共交通優先エリアに近づきやすい環境を整える。事/行
- 歩行者・公共交通優先エリアでは、平面駐車場や立体駐車場を廃止する一方で、再開発事業などの進行に合わせ、停車場線沿いを中心とした大規模な地下駐車場ネットワークを形成する。事/行
- 歩行者・公共交通優先エリアの駐車場運営は、商業施設への来訪者の利便を第一に考え、来訪者の駐車は商業施設地下駐車場へのダイレクトパーキングとし、従業員などの駐車は、同エリア外のフリンジパーキングに誘導する。事/行



トランジットモール イメージ



3. 世界に誇れる『かしこい交通社会』が実現した交通モデル都市

⑨ ITS を活用し、人と車の未来を見せる『かしこい交通社会』を実現する。

『かしこい交通社会』とは

ITS などを活用するとともに、市民一人ひとりが意識やライフスタイルを変革することにより実現する、安全かつ円滑に移動でき、環境にやさしい持続可能な交通社会

アクションプラン

■ 安全運転支援システムの導入

- 安全運転支援システムを国が進める大規模な実証実験と連携し、モデル的な導入を図り、歩行者にも自動車にも安全な都市内移動を実現する。行

■ 快適で楽しい移動を支える ITS(高度道路交通システム)・地域交通システムの構築

- 都心駐車場や幹線道路から細街路まで含めた道路渋滞情報等の道路交通情報を、移動シーンに応じてリアルタイムに提供することで円滑に都心まで来られるようにする。行
- 渋滞、安全、公共交通、駐車場、地域情報などが入手でき、決済機能を有する次世代型の車載器（ITS 車載器）を導入し、パーク＆ライド駐車場と公共交通やカーシェアリングなどのさまざまな移動システムを連携させ、スムーズな移動ができる交通環境を整備する。事/行
- 通過交通規制エリアに流入する車にはデポジットを課す一方で、エリア内の駐車場に停めると相殺される『パーキングデポジット』を採用し、通過交通を抑制する。事/行
- ITS 車載器※の導入とともに地域 IC カードを導入し、各種の情報や料金決済が連携できる仕組みを構築する。これにより、商店街やエコポイントなどとの連携も図る。民/事/行
- 自動車交通だけでなく、携帯電話などのモバイル端末を利用し、歩行者、自転車、ショッピングカート利用者などに情報提供するほか、豊田市を訪れる観光客に対しても、コンシェルジェなど充実したコンテンツ提供も行えるようにする。民/事/行
- 都心イベント時には、高速道路などを活用したパーク＆バスライドシステムを導入し、都心までの移動を快適に行えるようにする。また、駐車場誘導システムを導入し、都心周辺の駐車場の有効利用を行い、渋滞の発生を抑制する。事/行

■ 市民のライフスタイルや環境に対する意識の変革

- 交通に関する講演会やエコドライブ運転講習会などを定期的で開催し、市民一人ひとりが、健康・エネルギー問題・地球温暖化問題などを考え、過度に自動車利用に依存したライフスタイルを改める契機とする。民/事/行
- 公共交通の利便性向上、交通手段転換、交通需要の効率化など TDM（交通需要マネジメント）の取り組みを推進し、人と自動車が共存した都心を創出する。行

■ 『かしこい交通社会』を資源とする世界からの観光客誘致

- 世界に誇れる『かしこい交通社会』が実現した交通モデル都市を観光資源として、テクニカルビジット（産業施設などを対象とする観光）を含む観光客を戦略的に誘致し、交流人口の拡大を図る。事/行
- 『かしこい交通社会』を楽しみながら、学び、体験できる施設を停車場線沿いに設置し、地域の産業や文化情報を発信できる拠点とする。事/行



カーナビへの情報提供



道路交通情報通信システム (VICS)

車に搭載した光ビーコンアップリンク車載器により、渋滞情報、規制情報、案内情報などをリアルタイムで収集し、走行の円滑化を図る。



歩行者移動支援

携帯電話を活用して、経路案内等の情報を提供し、身障者をはじめとする歩行者の移動を支援する。



安全運転支援システムの導入

横断歩行者や交差点において、ドライバーに対して横断歩行者の存在を知らせ、注意を促す。



地域公共交通 IC カード

鉄道やバスなどの公共交通の運賃や、駐車場での車両認証・料金支払いなどに共通して使える IC カード。各交通機関の乗り換えをスムーズにするなどの効果がある。

ITS の活用による『かしこい交通社会』 イメージ

※ITS 車載器

「あらゆるゲートのスムーズな通過」「場所やニーズに応じた地域ガイド」「タイムリーな走行支援情報の提供」を実現する、決済機能を有した、次世代道路サービスを受けるための車載器

(参考) ポイントとなるアクションプランの展開イメージ

都心が目指すべき9の目標を実現するための具体的なアクションプランの内容及び整備目標時期を下記フローに示す。



公共交通に支えられ、様々な都市機能が集積した魅力的な都心の形成 ↓ 豊田市全体の都市構造再編に寄与